

国士舘大学大学院入学試験問題用紙

修士課程

研 究 科	専 攻	試 験 科 目	参考書等持込
経済学研究科	経済学専攻	西洋経済史研究	不可

問：次の問題から1問選択し、1000字~1200字程度で記述せよ

(1) 19世紀前半におけるドイツの工業化について、フランス革命やナポレオン戦争が与えた影響、工業化に当たって主導権を握った特定の諸邦の存在とその諸邦が力を握るに至った背景、及び工業化を加速化させ政治的統一の前提条件となった経済的統合に大きな役割を果たしたドイツ関税同盟の存在と交通インフラとしての鉄道の経済的効果を交えながら説明せよ。

(2) 19世紀後半から第1次世界大戦に至るまでの時代を経済活動の観点から捉えると、それは第1のグローバル化と呼べるような状況であった、とする解釈が存在する。この時代がなぜ第1のグローバル化であると解釈できるのか。この時代における世界規模での経済統合と一体化について、その特徴と経済統合への動きを支えた諸要因を交えながら説明せよ。

(3) アメリカの世界経済への関与は、大恐慌以前とそれを経験した後の第2次世界大戦終結後とで大きく様変わりしたとされる。なぜこのような変化が見られるようになったのか。大恐慌の経験がアメリカの世界経済への見方をどう変えることとなり、そのことが戦後アメリカの世界経済再建への関与にいかなる影響を与えることとなったのかについて、戦後アメリカが実行に移した世界経済再建の動きの特徴を交えながら説明せよ。